

社会福祉法人 八葉会

## 2023（令和5）年度 事業計画

2023（令和5）年3月16日 理事会

理事長	大門	今津	赤坂	東深津
 05.3.16 理事長	 -5.3.16 理事長	 -5.3.16 理事長	 5.3.16 理事長	 05.3.16 理事長

(1) 運営	
1 設置名	社会福祉法人 八葉会
2 代表者	理事長 金永恵美子
3 本部所在地	広島県福山市大門町大門325番地
4 施設	幼保連携型認定こども園 大門未来園（1978年4月1日開園） 福山市大門町大門60-2 幼保連携型認定こども園 今津未来園（2011年4月1日開園） 福山市今津町6丁目2-5 認定こども園 赤坂未来園（2016年4月1日開園） 福山市赤坂町赤坂337 小規模保育所 未来園東深津（2021年4月1日開園） 福山市東深津町3丁目3-14
5 事業内容	第2種 社会福祉事業 (イ) 幼保連携型認定こども園の経営 (ロ) 一時預かり事業の経営 (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営 (二) 小規模保育事業の経営
6 理念	基本理念 <b>智恵を未来へ</b> この子にとって より良い環境を創造し 大切な智恵を育てる 行動指針 ・元気に挨拶 明るい笑顔 ・周りをよく見て 進んで行動 基本方針 ・子どもが安心して生活できる環境を創る ・子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ・保護者との信頼関係を大切に、共に育つ 目標 困難に立ち向かえる強さと、人の痛みがわかるやさしさをもつ子どもを育てる ・心身ともに健康な子 ・身のまわりの事を自分でできる子 ・人の思いを感じられる子 ・いきいきと自分を表現できる子 ・自分で考え、進んで行動できる子 ショルダーフレーズ 未来（あした） はばたくこの子を今日まもって一緒に歩く
7 中期事業計画	法人が存続し成長していくために、法人が目指す姿を明確にし、中期的な方針や数値目標を具体化するため策定する。4年ごとに作成し、経営会議にて都度見直しを行う。（2021年度～2024年度）
8 理事会・評議員会	報告別紙1
① 理事会	5月 … 事業報告・決算・理事監事候補者の選任・定時評議員会の招集・監事監査報告 6月 … 理事長の選定 12月… 補正予算・理事長報告・監事監査報告 3月 … 補正予算・事業計画・当初予算・理事長報告
② 評議員会	6月 … 決算・理事監事の選任・事業報告・監事監査報告
9 監査	① 監事監査 年2回 ② 内部監査 内部監査人で各園年2回実施する。 ③ 行政監査 各園年1回 ④ 外部監査 予定しない
10 法人移管	公募があった場合は移管の立地と資金等を勘案して積極的に対応する。
11 新規施設	公募があった場合は新規施設の開設を検討する（小規模保育所など）
12 当年度重点事業	・ 4園の各地域の特性を生かし、地域に根差した活動を行う。 ・ 4園が相互に連携し助け合うネットワークを構築して、共に高い質の教育・保育を目指す。 ・ チーム保育を取り入れ、職員が協力できる体制を作り、保育の質や専門性の向上に努める。

(2) 施設														
1 特別保育事業	大門未来園	・延長保育・障がい児保育・休日保育（一時預かり・子育て支援）												
	今津未来園	・延長保育・障がい児保育・一時預かり・地域子育て支援センター・児童クラブ												
	赤坂未来園	・延長保育・障がい児保育・一時預かり・地域子育て支援センター												
	未来園東深津	・延長保育・障がい児保育（一時預かり事業）												
2 定員	大門未来園	140名（うち1号10名）												
	今津未来園	150名（うち1号10名）												
	赤坂未来園	100名（うち1号10名）												
	未来園東深津	19名												
3 教育及び保育日数														
・大門未来園は全日開園（365日）														
・今津未来園・赤坂未来園・未来園東深津は月～土曜日（日祝祭日を除く297日）														
4 教育及び保育時間														
	開園時間	7時 00分 ～ 19時 00分												
2号 3号	標準時間	7時 00分 ～ 18時 00分					短時間	8時 00分 ～ 16時 00分						
	延長保育	18時 00分 ～ 19時 00分					延長保育	7時 00分 ～ 8時 00分 16時 00分 ～ 19時 00分						
1号	設定教育時間	9時 00分 ～ 13時 00分					長期 休み	夏休み 8月 1日 ～ 8月 31日						
	預かり保育	7時 00分 ～ 9時 00分						冬休み 12月 24日 ～ 1月 6日						
		13時 00分 ～ 19時 00分						春休み 3月 27日 ～ 4月 6日						
5 年齢別児童数(予測) ( )1号											報告別紙2			
	大門未来園			今津未来園			赤坂未来園			未来園東深津				
	4月	10月	3月	4月	10月	3月	4月	10月	3月	4月	10月	3月		
0歳児	6	14	21	6	13	24	1	4	9	1	6	6		
1歳児	20	22	22	23	23	23	18	18	18	8	8	8		
2歳児	24	25 -(1)	25 -(1)	23	23	23	21	21	21	8	8	8		
3歳児	26 -(3)	27 -(3)	27 -(3)	26 -(3)	26 -(3)	27 -(3)	24 -(3)	24 -(3)	24 -(3)					
4歳児	26 -(3)	27 -(3)	27 -(3)	26 -(4)	26 -(4)	27 -(4)	23 -(3)	23 -(3)	23 -(3)					
5歳児	27 -(3)	27 -(3)	27 -(3)	26 -(2)	26 -(2)	26 -(2)	24 -(5)	24 -(5)	24 -(5)					
計	129 -(9)	142 -(10)	149 -(10)	130 -(9)	137 -(9)	150 -(9)	111 -(11)	114 -(11)	119 -(11)	17	22	22		
6 全体的な計画											計画別紙1		報告別紙3	
園に通う全ての子ども対象に、その入園から修了までの在園期間全体にわたって、子ども達がどうい発達過程を通して、各園が掲げる「方針や目標」に近づいていくための計画を作成している。また計画には園の特色や方向性、生活やあそびを通して育ていく子どもの姿や、具体的なねらいや内容を掲載している。また、子どもの発達を見通した活動などは年間計画、月案・週案において具体化していく。														
7 教育及び保育計画	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙4		
8 教育及び保育連合	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙5		
9 給食・食育	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙6		
10 年間行事	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙7		
11 子育て支援事業	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙8		
12 児童クラブ(今津)	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙9		
13 休日保育(大門)	前年度の取り組みを振り返り、より充実した内容を計画する。											報告別紙10		
14 安全点検及び防災対策												報告別紙11		
① 訓練														
・防災訓練 毎月1回実施（火災・地震・水害）、火災総合訓練(年2回)														
・防犯訓練 年3回程度														
② 安全点検														
・自主点検 ・毎月1回各クラス職員がクラスの点検を行い、他のクラスの確認も行う。(相互チェック)														
・年4回、建物や設備器具について担当職員が点検する。														
・法定点検 年1回、外観点検・機能点検で、消火器具・避難設備器具・警報設備器具の種別で点検を依頼する。														



15 保健衛生		
① 衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃの消毒や毎日の清掃、衛生管理に努める。害虫駆除を毎月定期的に行う。</li> <li>・保健衛生マニュアルに基づき、職員全員に研修を実施する。</li> </ul>	
② 感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもおよび職員の手洗い・うがいの励行と、園内の消毒の徹底を図る。</li> <li>・体調不良が見られる場合は登園を控えてもらうなど、感染拡大防止の協力を呼びかける。子どもの体調の変化に注意する。</li> <li>・情報の収集および共有をする。感染症が発生した場合は速やかに周知する。必要に応じて行事の内容変更や中止を検討する。</li> </ul>	
③ 児童健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本スポーツ振興センター加入</li> <li>・医科歯科検診(年2回)、尿検査(年1回)、身体測定(月1回)、聴力視力検査(4歳児のみ)</li> </ul>	
16 保護者		報告別紙12
① 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面接・保育参観・懇談会・保護者会・アンケートの実施・園だより・クラス便りの発行など</li> <li>・メール配信システム（SECOM）を活用して、保護者へ情報発信を即時に行う。</li> </ul>	
② 個人情報	個人情報管理マニュアルに基づき、園児や職員に関する書類などの管理を徹底する。	
③ 苦情・意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情処理マニュアルに基づき、苦情の受付から解決までの体制を整え、組織力を強化していく。</li> <li>・職員個人が問題を溜め込むのではなく、全職員が共有し問題解決に取り組んでいく。</li> </ul>	
④ 育児相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談を実施。園長・副園長および主幹保育教諭が対応する。</li> <li>・ケースによっては、子育て支援課やこども家庭センターなどとも協力をしてゆく。</li> </ul>	
17 地域交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークル（保育体験・給食体験・リトミックなど）</li> <li>・地域行事への参加（学区運動会・敬老会など）・デイケアハウス訪問・園行事への招待（発表会・もちつきなど）</li> <li>・小学校との交流・チャレンジウィーク(職業体験)の受け入れ</li> <li>・警察・消防と連携（防犯・防火訓練・防火パレード）・公民館との連携</li> <li>・ほいくの園…月1回 おでかけ保育を市内の9保育所・園と共催。(大門のみ)</li> <li>・おもちゃサロン…月1回 大門町福祉を高める会主催。園の子育て支援室を開放する。(大門のみ)</li> </ul>	報告別紙13
18 実習・ボランティアの受け入れ	実習・ボランティアの受け入れを積極的に行う。	報告別紙14
19 各園の事業計画	計画別紙2	
大門未来園	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活やあそびの中での主体的な保育と実践（多様性の中の保育・エピソード記録活用）</li> <li>② 粘り強く取り組む力、豊かな感性の育成（発達連続性を踏まえた保育内容の見直し・行事の取り組み方の工夫）</li> <li>③ 人権を尊重した保育を続けていくための職員の学びとコミュニケーション構築（積極的な研修受講・サークル活動など）</li> </ul>	
今津未来園	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員の資質向上に向け、研修などの活用とチーム保育の場の構築（リトミック・ベビーマッサージ・縦割り保育など）</li> <li>② 園児や職員、保護者にとって安心して生活でき人の痛みがわかり、寄り添える集団作りを目指す</li> <li>③ 保護者支援・子育て支援事業内容の検討と充実を図る</li> </ul>	
赤坂未来園	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員間や法人内での交流・協力を進めチーム力を高める（テーマごとの会議、少人数での話し合いなど）</li> <li>② 子どもや地域の方が笑顔になるように、職員発信の元気で明るい挨拶運動</li> <li>③ 職員一人一人が、自己肯定感を高めながら個々の質の向上を目指す（職員のキラリハットなど）</li> </ul>	
未来園東深津	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 目に見えない背景、気持ちを想像し、寄り添う事でより良い信頼関係を築く</li> <li>② 連携園や姉妹園との交流や情報交換の積極的参加（姉妹園の運動会への参加）</li> <li>③ 心と体のバランスのとれた子どもの姿をめざす（リトミック・発達に応じた運動あそび）</li> </ul>	

(3) 職員												
1 事務分掌											報告別紙14	
2 職員数 4月1日現在。(非常勤及び派遣職員は常勤換算して算定する。育休・産休職員も含める。)											報告別紙15	
大門未来園						今津未来園						
	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計
正規	2	17	3	1		23	2	13	2			17
常勤		2				2		2	1			3
非常勤		11(7.3)	1(0.6)		③	12(7.9)		8.4	0.5	2.4	③	11.3
派遣						0		1	0.7			1.7
計	2	30(7.3)	4(0.6)	1			2	24.4	4.2	2.4		
赤坂未来園						未来園東深津						
	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計	園長・副	保育士	調理員	事務・他	嘱託医	計
正規	2	14	2			18	1	4	1			6
常勤		1				1		1				1
非常勤		10(6.1)	4(1.9)	1(0.7)	③	15(8.7)		1.1	0.2	0.6	②	4(1.9)
派遣		1				1						0
計	2	26(6.1)	6(1.9)	1(0.7)			1	7(6.1)	2(1.2)	1(0.6)		
3 職員処遇												
① 職員給与												
・給与規程及び臨時職員の任用規程に基づいて支給する。当月末締め、当月25日払い												
・人事院勧告があった場合は、給与規程に改定し差額支給を行う。												
② 職員賞与・処遇改善手当												
・期末勤勉手当は2ヶ月分を支給する(毎月0.1667ヶ月分を引き当てる)(6月12月正規職員)												
・2023年度も処遇改善手当制度Ⅰがある場合は、交付金の額に対応した額を算定し支給する。(全職員1月3月)												
・2023年度も処遇改善手当制度Ⅱがある場合は、リーダーに任用された職員へ交付金の額に対応した額を毎月支給する。												
・処遇改善手当Ⅱが適用されない園長と子育て支援員の職員に対して、処遇改善手当Ⅰを毎月定額支給する。												
・処遇改善手当制度Ⅲにより、基本給を3%加算しているが、交付金の残額があった場合は一時金として支給する。												
③ 有給休暇 有給休暇の計画付与を引き続き行う。3ヶ月ごとに2~4日程度の有給休暇を勧奨を行う。												
④ 健康管理 健康診断年1回(全員) 腸内細菌検査(年4回、毎月対象職員は年12回)												
⑤ 人事考課 360°評価を実施し、その結果を人事考課に反映させる。												
⑥ メンター制度 新人職員に1人1人にメンターをつけ、人材育成や職員の定着を図る。												
⑦ 福利厚生 ソウエルクラブに加入。職員旅行をする場合は、補助金として2分の1程度補助をする。(上限あり)												
4 職員採用 6月から採用試験を毎月第3土曜日に各園持ち回りで実施。												
5 職員研修											報告別紙16	
・職員と管理職が面談して、個人の研修計画を策定。これに応じて研修を実施する。												
・OFF-JTの活用…ヤマハ音楽研修(毎月1回*3園)、体育研修、保育士等キャリアアップ研修、八葉会研修、新人研修など												
・適切なOJTの推進…クラス内、園内での指導・育成を計画的に行う。												
・SDSへの支援…職員が自ら学びたいことを学べる環境を整備する。												
6 会議											報告別紙17	
① 経営会議 各園の園長と副園長が経営や人事等について話し合う。												
② 主幹会議 各園の主幹保育教諭と指導保育教諭(副主任)が保育や行事等について話し合い、各園の視察・内部監査を行う。												
③ 職員会議 毎週1回、職員が保育や行事について話し合い、研修報告等を行う。出席できない職員は議事録を閲覧する。												
④ 保育会議 毎週1回、クラスの担当が保育や行事、クラスの様子等について話し合う。その他の職員は議事録を閲覧する。												
⑤ 給食会議 毎月1回、調理員および園長、保育教諭が給食、食育等について話し合う。納入業者とも年2回話し合いを行う。												
⑥ 事務会議 各園の事務員が事務や会計について話し合う。												
⑦ イマコそ会議 毎週1回、インシデント、マニュアル等について担当職員が話し合う。												

7 第三者評価・自己評価

- ・毎月、自己チェック表を基に自己評価を行う。
- ・2023年度は大門（1月）今津（11月）赤坂（12月）が第三者評価を受審する。
- ・各園グループに分かれ自己評価を行い、グループリーダーが第三者評価に参加する。

(4) 事務・会計

1 事務全般

- ・事務・人事管理・運営の簡素化及び適正化を図る
- ・本部機能の強化(人事管理・経営の適正化を強化する)
- ・会計や内部統制機能の整備、各園の相互チェック機能の確立を図る

2 歳出計画

報告別紙18

① 人件費 70%に抑制することを指標とする。(目標としない)

② 施設整備・修繕・固定資産取得

大門 未 来 園	低年齢児園庭の整備	900,000	今 津 未 来 園	2階保育室床修繕	1,000,000
	エアコン改修	630,000		避難滑り台避難口柵修繕	150,000
	ステージの修繕	500,000			
	クリームパンダちゃん像	130,000			
赤 坂 未 来 園	ゴムチップ舗装	900,000	未 来 園 東 深 津	避難用テント	150,000
	和太鼓	500,000			

③ 契約（100万円以上）

④ 法人内借入・繰入

- ・処遇改善手当 … 支給額に応じて園間で流用する。
- ・賞与引当金 … 異動する正規職員の賞与引当金を園間で繰入する。
- ・本部繰入金 … 大門未来園（15万）、今津未来園（15万）、赤坂未来園（15万）、未来園東深津（5万）

⑤ 借入金償還

- ・福祉医療機構へ返済 … 大門未来園（183万円）、今津未来園（344万円）、赤坂未来園（267万円）
- ・拠点区分間借入金返済 … 未来園東深津から今津未来園へ（300万円）

⑥ 積立金(資金残高)

- ・施設設備積立金 … 大門未来園（1,500万円）、今津未来園（600万円）、赤坂未来園（500万円）

⑦ 本部

- ・理事・監事及び評議員の報酬の計上
- ・給料・社会保険料・保育料等の合算と支出を統括



# 2023(令和5)年度 大門未来園の全体的な計画 (教育及び保育)

--	--	--	--	--

<b>基本理念</b>		<b>智恵を未来へ</b> この子にとってより良い環境を創造し、大切な智恵を育てる			<b>目標</b> 困難に立ち向かえる強さと 人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる  ○心身ともに健康な子 ○身のまわりの事を自分でできる子 ○人の思いを感じられる子 ○いきいきと自分を表現できる子 ○自分で考え、進んで行動できる子	<b>今年度の                  主な取り組み</b>  ●主体的な保育(生活とあそび)の実践  ●粘り強く取り組む力、豊かな感性の育成	
<b>基本方針</b>		○子どもが安心して生活できる環境を創る ○子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ○保護者との信頼関係を大切に、共に育つ					
<b>年齢</b>		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
<b>各年齢の年間目標</b>		○生理的欲求が満たされ、安心して過ごせるようにすると共に、保育教諭等との暖かいふれあいの中で愛着関係を築く	○生活に必要な基本的なことを自分でしようとする。友だちに関心をもち関わってあそぶことを楽しむ	○自己主張や欲求を出すことにより、友だちとの関わり方を知る	○あそびや生活を通していろいろな経験をし、友だちとのかかわりを広げていく	○仲間とともに信頼関係を深め、自己肯定感をほぐす	○集団生活の中で自立的、意欲的に活動し、体験を積み重ねることで豊かな心を育てる
<b>教育・保育内容(めざす子どもの姿)</b>	<b>養護</b>	<b>生命の保持</b> ・生理的欲求の充実	・生活リズムの形成	・適度な運動と休息の充足	・健康的な生活習慣の形成	・運動と休息のバランスと調和を図る	・健康や安全への意識の向上
		<b>情緒の安定</b> ・情緒的な絆の形成	・温かなやり取りによる心の安定	・自我の育ちへの受容と共感	・主体性の育成	・自己肯定感の確立と他者の受容	・心身の調和と安定により自信をもつ
	<b>健康</b> ・生活のリズム感覚の芽生え ・身体機能の発達	・生活のリズムの確立 ・運動・指先の機能の発達	・基本的生活習慣を身に付けようとする ・意欲的に運動し、指先を使ってあそぶへの挑戦	・見通しをもって生活する ・体全体の協応運動に挑戦	・生活習慣の大切さを理解し、安全な生活を自分で判断し行動する ・多様な動きを経験し体の動きを調整		
	<b>人間関係</b> ・特定の大人との深い関わりによる愛着の形成	・周囲の人への興味、関心の広がり	・自己主張の表出 ・友だちとの関わりが増大	・相手の思いへの気付き ・道徳性の芽生え	・友だちとの深いつながり ・相手の思いや立場を考えながらの行動	・社会性の獲得と自立心の育成 ・自分で考え自分で行動 ・友だちと意思の共有	
	<b>環境</b> ・身近なものと関わり周囲へ関心を示す	・身近な環境の中で、好奇心や探求心をもつ	・身近な環境への興味をもち、関わり、生活を広げていく	・身近な環境への関心の高まり ・物の性質や仕組みへの気付き	・社会事象への探求心の獲得、積極的な生活への取り入れ ・数量・図形・文字などへの関心		
	<b>言葉</b> ・喃語の育みと応答による言葉の芽生え	・生活に必要なことばの理解 ・言葉のやり取りのはじまり	・自分の思いを言葉で表現する ・言葉のやり取りを楽しむ	・生活の中で必要な言葉の獲得や使用 ・言葉の美しさ、楽しさへの気付き	・伝える力、聞く力の獲得 ・絵本や物語への親しみ ・文字や数字へ関心をもち、あそびへ発展 ・体験によるイメージや言葉の広がり		
	<b>表現</b> ・聞く、見る、触るなどの経験を通じた感覚や手指の機能の高まり	・体を使った表現 ・いろいろな素材にふれる	・生活やあそびの様々な体験を通して、イメージや想像力を豊かにする	・感じたことや考えたことを自分なりに表現する	・感じたことや想像したことなどを自由に表現し楽しむ	・ダイナミックな表現 ・感動の共有 ・体験を通じた表現	
<b>食育</b> ・いろいろな食材の食感や味に慣れる ・食べることへの意欲をもつ	・食材に興味をもち、自分で食べる喜びを味わう	・食事に必要な習慣を知る ・友だちと一緒に食事をする楽しさを味わう	・食材への関心 ・苦手な物も食べようとする ・菜園活動への興味	・食事に必要な習慣や態度を身につける ・食材・調理への興味関心をもつ	・健康に関心をもつ ・自然の恵みに感謝する ・食事のマナーが正しく身につく		
<b>人権計画</b> ○困難に立ち向かえる強さと、人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる	<b>主な教育と保育事業</b> ・休日保育 ・早朝保育 ・延長保育 ・預り保育(1号) ・一時預かり	<b>会議</b> ・職員会議 ・保育会議 ・給食会議 ・イマコそ会議 ・経営会議 ・未来へ会議 ・主幹会議 ・事務会議					
<b>保健計画</b> ○生活リズムを整え、基本的生活習慣を身につける ○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる	<b>特色のある教育・保育</b> ・和太鼓 ・マーチング ・リズム ・音楽リズム ・舞踊 ・英会話 ・組体操 ・スイミング ・運動あそび ・異年齢児保育 ・食育 ・クッキング ・お茶会 ・習字 ・異年齢児給食体験	<b>職員研修                  自己評価</b> ・外部研修(オンライン研修含む) ・園内研修(八葉会研修・職員研修) ・ヤマハ研修 ・運動あそび研修 広島県教育アドバイザー訪問指導 ・絵画研修 ・自己評価(チェックリスト) ・第三者評価受審 ・メンター制度 ・他クラス保育体験 ・セルフチェックリスト研修					
<b>安全計画</b> ○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる ○防災訓練を通して安全を意識する力・状況を判断する力を付ける	<b>気になる子どもへの配慮</b> ○発達段階や特性を把握し、安心して過ごせるように適切な環境やかかわり方を考えながら支援していくと共に、保護者や関係機関との連携を行う	<b>主な行事</b> ・入園式・誕生会(毎月) ・花まつり ・芋の苗植え・参観日・親子バス遠足・秋の遠足・園外保育・夏祭り・夕べの集い・お泊まり会・人形劇・お月見会・運動会・芋掘り・焼き芋パーティー・ふるさと散歩・お茶会・作品展・餅つき・音楽発表会・クリスマス会・豆まき・ひなまつり会・ふれあいひなまつり会・お別れ遠足・お別れの会・卒園式					
<b>保護者支援(家庭との連携)</b> ○保護者の思いを受けとめて連携を深めていく中で、保護者が子育てに対する喜びや充実感が得られるようにする	<b>小学校との連携</b> ○職員の交流を図り、互いの教育・保育内容について理解を深める ○就学を見通した交流や連携ができるようにする	<b>地域連携</b> ○行事などを通して地域との交流を深めると共に、園と一緒に活動する機会を設け、園での取り組みを知ってもらう					
<b>子育ての支援(主に未就園児)</b> ○地域の未入園児親子を対象に遊びの場を提供し、親子で一緒に楽しめる内容を企画したり、子育て相談を行ったりしながら子育て支援を行う							

2023(令和5)年度

今津未来園の全体的な計画 (教育及び保育)

--	--	--	--	--

<b>基本理念</b>		<b>智恵を未来へ</b> この子にとってより良い環境を創造し、大切な智恵を育てる		<b>目標</b> 困難に立ち向かえる強さと 人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる  ○心身ともに健康な子 ○身のまわりの事を自分でできる子 ○人の思いを感じられる子 ○いきいきと自分を表現できる子 ○自分で考え、進んで行動できる子	<b>今年度の                  主な取り組み</b>  ●異年齢での交流 (たてわり保育・チーム保育)  ●幅広い体験活動を通して感性を豊かにする		
<b>基本方針</b>		○子どもが安心して生活できる環境を創る ○子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ○保護者との信頼関係を大切にし、共に育つ					
<b>年齢</b>		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
<b>各年齢の年間目標</b>		○生理的・依存的欲求を満たし生活リズムを整える ○生命の保持・生活情緒の安定	○身の回りのことの興味関心を示し、探索活動を楽しむ ○保育教諭等や友だちの真似をしたり、自分のことをしようとする	○基本的な生活習慣を身につけ、自分の思いを言葉で表す ○活動範囲が広がり、歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能の充実	○基本的な生活習慣が身につき、自信をもってのびのびと行動する ○保育教諭等との信頼関係をもとに、友だちとのかかわりを楽しむ	○生活やあそびを通して、達成感を味わい自信をもって行動する ○認め合い励ましあうなど関わりあう関係を広げ、集団で行動することを楽しむ	○集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる中で、自信を持ち、目標に向かって試行錯誤しながら行動する
<b>教育・保育内容                  (めざす子どもの姿)</b>	<b>養護</b>	<b>生命の保持</b> ・生活リズムを重視し、生理的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る	・生活リズムが整う	・適度な運動と休息の充実	・基本的な生活習慣の確立	・運動と休息のバランスと調和	・健康・安全への意欲向上を持つ
		<b>情緒の安定</b> ・子どもの自我を見守りながら必要に応じて気分転換できるように関わる	・心の安定と自分の思いの表出	・自我を大切にしたい関わり	・主体性を育てるかかわり	・自己肯定感の確立と他者の受容	・心身の調和と安定により自信を持つ
	<b>健康</b> ・発達に合った活発な身体活動	・運動機能の発達	・運動、指先の機能の発達 ・排泄の確立	・意欲的な活動	・健康への関心	・健康増進とさらなる挑戦への意欲向上	
	<b>人間関係</b> ・大人・友だちへ興味関心	・周囲の人への信頼、興味関心の広がり	・自己主張の表出 ・友だちとの関わり楽しさ	・思いの表出と相手の思いの受容	・仲間との深いつながり	・思考力・判断力の育成と他者へ思いやり	
	<b>環境</b> ・身の回りに対する興味や関心の芽生え	・好奇心や探求心を高める	・自然現象への関心や関わり	・身近な環境への興味・関心	・社会現象への関心の高まり	・社会・自然現象、数量や図形、簡単な文字・標識への関心	
	<b>言葉</b> ・喃語の育みと応答による言葉の芽生え	・ことばの獲得	・言葉のやりとりの楽しさ	・生活の中で必要な言葉の理解	・伝える力、聞く力の獲得	・言葉による伝えあいとその内容理解 ・相手の気持ちの受容	
	<b>表現</b> ・様々な素材を楽しむ。 ・全身を使って自分の気持ちを表現する	・いろいろな素材にふれ楽しむ	・象徴機能の発達とイメージの膨らみ	・感性の充実	・豊かな感性による表現	・ダイナミックに表現 ・目的に向かい協力、感動の共有	
<b>食育</b> ・好き嫌いはあるが励まされながら意欲的に食べる	・自分で食べる喜びを味わう	・食事に必要な習慣の獲得	・食材への興味・関心	・食材・調理への興味関心	・菜園活動やクッキングなどを通して食関心と感謝		
<b>人権計画</b>	○困難に立ち向かえる強さと人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる	<b>主な教育と保育事業</b>	・子育て支援センター・児童クラブ(小学校長期休業日中) ・延長保育・一時保育・預かり保育(1号)	<b>会議</b>  ・職員会議、保育、主担会議・給食会議 ・イマコ会議(ヒヤリハット)・経営会議・未来へ会議 ・主幹会議・事務会議・リーダー会議			
<b>保健計画</b>	○生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につける ○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる	<b>特色のある教育・保育</b>	・和太鼓・英会話・リトミック・異年齢児保育 ・地域交流(昔ながらの遊び、読み聞かせ、菜園活動等)				
<b>安全計画</b>	○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる ○防災訓練を通して安全を意識する力・状況を判断する力を付ける	<b>気になる子どもへの配慮</b>	○発達段階や特性を理解し、適切な関わり方や環境を考え支援していく	<b>職員研修                  自己評価</b>	・ヤマハ研修・運動あそび研修・教育アドバイザー ・外部研修・内部研修(八葉会) ・自己評価(チェックリスト)		
<b>保護者支援                  (家庭との連携)</b>	○保護者の思いを受け止め、共に協力し合いながら信頼関係を築いていく	<b>小学校との連携</b>	○小学校のスタートを安心して迎え期待を持てるようにする ○培ってきた学びを連続させ小学校へ円滑につなぐ	<b>主な行事</b>	・入園式・子どもの日の集い・人形劇・農業体験 ・夏祭り(七夕会)・いきいき交流会(敬老会) ・人権平和資料館見学・運動会・発表会・遠足 ・もちつき・クリスマス会・とんど・作品展・5所交流 ・感謝の会・誕生日会・参観日		
<b>子育ての支援                  (主に未就園児)</b>	○地域の子育て支援センターとして、親子で楽しめる内容を企画したり育児相談などを行う	<b>地域連携</b>	○地域との交流を深め見守られている安心感がもてるように、つながりを広げる				



# 2023(令和5)年度 赤坂未来園の全体的な計画 (教育及び保育)

--	--	--	--	--

<b>基本理念</b>		<b>智恵を未来へ</b> この子にとってより良い環境を創造し、大切な智恵を育てる		<b>目標</b> 困難に立ち向かえる強さと人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる ○心身ともに健康な子 ○身のまわりの事を自分でできる子 ○人の思いを感じられる子 ○いきいきと自分を表現できる子 ○自分で考え、進んで行動できる子	<b>今年度の主な取り組み</b> ●笑顔であいさつ ●子どもの心に寄りそう		
<b>基本方針</b>		○子どもが安心して生活できる環境を創る ○子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ○保護者との信頼関係を大切に、共に育つ					
<b>年齢</b>		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
<b>各年齢の年間目標</b>		○欲求を満たし情緒の安定を図り、保育教諭等との愛着関係を築く	○保育教諭等や友だちと関わる楽しさを味わう	○保育教諭等や友だちと関わりながらことばのやりとりを楽しむ	○あそびや経験を通して友だちとの関わりを広げていく	○あそびを通して自己を発揮し、友だちと関わる中で、互いの良さを認め合う	○集団生活の中で自立的、意欲的に活動し、体験を積み重ね心身を育てる
<b>教育・保育内容(めざす子どもの姿)</b>	<b>養護</b>	<b>生命の保持</b> ・生理的な欲求を満たし、心身ともに快適な状態をつくる	・生理的欲求を満たし快適に過ごせるようにする	・安全に活動できるようにする	・健康に過ごせるようにする	・自分の体に関心を持ち、健康や安全を自ら気を付けられるようにする	・生活に必要な習慣や行動が身につく、進んでできるようにする
		<b>情緒の安定</b> ・応答的な関わりの中で、信頼関係を築く	・欲求や要求などの思いを表せるように関わる	・自分の気持ちを安心して表現できるように関わる	・自信をもって生活できるようにする	・自己肯定感をはぐくみ、自信につなげる	・自己肯定感を持ち、主体的に活動できるようにする
	<b>健康</b> ・自ら体を使って意欲的に活動する	・自立心が芽生える	・簡単な身の回りのことを自分でしようとする	・基本的な生活習慣を身につける	・身体全体の協応運動ができる	・見通しをもって自立した生活を送る	
	<b>人間関係</b> ・身近な人に関心を持ち、一緒に過ごすことを喜ぶ	・友だちへの関心をもつ	・友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る	・道徳性が芽生える	・友だち関係を深める	・社会性の確立と自立心の育成	
	<b>環境</b> ・さまざまなあそびを楽しむ	・好奇心や探求心を高める	・身近な動植物に関わり楽しむ	・好奇心や探求心を育む	・自然事象に興味関心を広げる	・社会自然事象を生活やあそびの中に取り入れる	
	<b>言葉</b> ・喃語を発しことばへの関心をもつ	・言葉や動作で伝えようとする	・ことばのやりとりを楽しむ	・ことばの意味や使い方を知りこ表現する	・伝える力、聞く力を獲得する	・話し合うことの大切さを知る	
	<b>表現</b> ・安心して様々な感情表現をする	・いろいろな素材に触れてあそびを楽しむ	・ことばやからだを使って表現する	・豊かな感性と表現の育ち	・豊かな感性を自由に表現する	・経験したことを工夫して、いろいろな方法で表現する	
<b>食育</b> ・いろいろな食材に慣れ、食べる意欲をもつ	・楽しく食事をする	・食事に必要な習慣を知る	・食材に興味をもちながら食事の仕方が身につく	・食材と体の関わりに気づく	・食材に触れ、調理への関心を深め、食への感謝の気持ちをもつ		
<b>人権計画</b>		○人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる		<b>主な教育と保育事業</b> ・早朝保育・延長保育・一時預かり・障がい児保育 ・子育て支援センター	<b>会議</b> ・職員会議・保育会議・給食会議・イマコ会議 ・経営会議・未来へ会議・主幹会議・事務会議 ・エピソードトークを語る会		
<b>保健計画</b>		○生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につける ○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる		<b>特色のある教育・保育</b> ・和太鼓・異年齢児保育・食材調べ・クッキング ・移動図書利用・さくらんぼリズム・菜園活動・田植え ・稲刈り・お茶会・陶芸・英会話・科学実験・木工教室 ・お買い物ごっこ・リトミック	<b>職員研修自己評価</b> ・外部研修・園内研修(八葉会研修・職員研修) ・自己評価(チェックリスト)・第三者評価 ・メンター制度・新人研修・理念研修 ・広島県教育アドバイザー訪問指導 ・ヤマハ研修・運動あそび研修		
<b>安全計画</b>		○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる ○防災訓練を通して安全を意識する力・状況を判断する力を付ける		<b>気になる子どもへの配慮</b> ○専門機関や保護者と連携しながら、安心して過ごせるように環境づくりや関わりを行う。 (発達支援センター・言葉の相談室・こぼと園など)			
<b>保護者支援(家庭との連携)</b>		○こどもへの関心が高まるような取り組みを行う		<b>小学校との連携</b> ○就学前のこどもたちが保育現場で培ってきた育ちと学びを連続させ、小学校へ円滑につなぐ	<b>主な行事</b> ・入園式・誕生会(毎月)・参観日・子どもの日の集い ・春の遠足・田植え・人権平和資料館見学・夏まつり ・平和の集い・プール参観・かしわもち作り・人形劇 ・七夕まつり・祖父母交流会・運動会・世代間交流 ・秋の遠足(バス遠足)・発表会・科学実験 ・クリスマス会・豆まき・ひな祭り会・もちつき ・お別れ遠足・卒園式		
<b>子育ての支援(主に未就園児)</b>		○地域の未入園児親子を対象に遊びの場を提供し、親子と一緒に楽しめる内容を企画したり、子育て相談を行ったりしながら子育て支援を行う		<b>地域連携</b> ○さまざまな人々と交流し、地域との連携を深める			

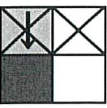

# 2023(令和5)年度 未来園東深津の全体的な計画 (養護及び保育)

<b>基本理念</b>		<b>智恵を未来へ</b> この子にとってより良い環境を創造し、大切な智恵を育てる		<b>目標</b>	困難に立ち向かえる強さと 人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる  ○心身ともに健康な子 ○身のまわりの事を自分でできる子 ○人の思いを感じられる子 ○いきいきと自分を表現できる子 ○自分で考え、進んで行動できる子	<b>今年度の 主な取り組み</b>	●笑顔で挨拶  ●気持ちに寄り添った保育
<b>基本方針</b>		○子どもが安心して生活できる環境を創る ○子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ○保護者との信頼関係を大切に、共に育つ					
<b>年齢</b>		0歳児		1歳児		2歳児	
<b>各年齢の年間目標</b>		○信頼関係・愛着関係を築く ○安全で清潔な環境の中で健康に過ごす ○家庭との連携を密にし共に歩んでいく		○甘えや欲求を満たす ○興味や関心を大切に ○他児に関心をもち、つながりを楽しむ		○基本的な生活習慣の形成 ○遊びのルールを知る ○基本的な運動機能や指先の機能が充実する	
<b>保育内容(めざす子どもの姿)</b>	<b>養護</b>	<b>生命の保持</b> 【低月齢】・家庭と連携し、健康状態を把握する 【高月齢】・自分でやりたいという気持ちを育てる	・生活リズムの形成		・自我の育成		
		<b>情緒の安定</b> 【低月齢・高月齢】 ・スキンシップをし、情緒の安定を図る	・信頼関係のもと、欲求などの思いを表す		・自由な表現と豊かな感性の育ち		
	<b>健康</b>	【低月齢】・清潔にし、心地よさを感じる 【高月齢】・生活リズムを身につける	・簡単な身の回りのことを自分でしようとする		・運動、指先の機能発達		
	<b>人間関係</b>	【低月齢】・愛着関係を築く 【高月齢】・保育者、友だちとのやりとりを楽しむ	・周囲の人への興味・関心		・自己主張の表出 ・友だちとの関わりの増大		
	<b>環境</b>	【低月齢・高月齢】 ・周囲に関心を持ち五感の働きを豊かにする	・身の回りの事への興味・関心		・自然事象への積極的なかわり		
	<b>言葉</b>	【低月齢】・意欲的に発語しようとする 【高月齢】・簡単な言葉を使おうとする	・言葉の獲得と話し始め		・言葉のやりとりの楽しさ		
	<b>表現</b>	【低月齢・高月齢】 ・意思や欲求を表情や身振りで伝える ・リズムに合わせて身体を動かす	・歌への興味・関心		・イメージの膨らみ		
	<b>食育</b>	【低月齢】・離乳食を進め、食物に親しみを持つ 【高月齢】・食具を使い自分で食べようとする	・食具を使い自分で食べる		・食事マナーへの興味・関心		
<b>人権計画</b>	○人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる	<b>主な教育と保育事業</b>	・早期・延長保育 ・一時預かり ・子育て支援		<b>会議</b>	・職員・保育会議 ・給食会議 ・イマコ会議 ・経営会議・未来へ会議 ・主任会議 ・事務会議	
<b>保健計画</b>	○生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につける ○安心・安全な環境の下、身体を動かして遊び健康増進をはかる	<b>特色のある保育</b>	○保育者と子どもとの丁寧な関わりの中で、より深い信頼関係を築く		<b>職員研修 自己評価</b>	・外部研修 ・園内研修(八葉会研修・職員研修) ・自己評価(チェックリスト) ・メンター制度 ・ヤマハ研修 ・運動あそび研修	
<b>安全計画</b>	○安心・安全な環境の下、身体を動かし健康増進をはかる ○防災訓練を通して安全を意識する力・状況を判断する力を付ける	<b>気になる子どもへの配慮</b>	○発達段階を把握し安心して過ごせるように環境やかかわり方を考えながら支援していく。保護者や関係諸機関と連携していく				
<b>保護者支援 (家庭との連携)</b>	○保護者の思いを受け止め、子どもの様子を伝え合い、信頼関係を築く	<b>連携園とのつながり</b>	○連携園の運動会等の行事に参加させてもらう事で、連携園の雰囲気を感じる		<b>主な行事</b>	・入園式 ・誕生会(毎月) ・参観日・はじめましての会 ・祖父母交流会 ・遠足 ・園外保育・歯磨き指導 ・夏祭りごっこ ・お月見会 ・運動会ごっこ ・秋まつり ・クリスマス会 ・お正月あそび・ミニ発表会 ・豆まき ・春を迎える会 ・お別れ会 ・卒園式	
<b>子育ての支援 (主に未就園児)</b>	○地域の子育て中の保護者がサークルに参加する事で、親子で触れ合う楽しさを知ったり、悩みを話せる場にする	<b>地域連携</b>	○実習生や・ボランティア・職業体験を受け入れ、小規模保育所を知ってもらい、地域との関わりを深める				

## 大門未来園の事業戦略

戦略方針	<p>2020年からのコロナ禍は2023年に至り終息を迎えないまま共存という方向に落ち着きつつある。今後は、ポストコロナへの対応が必要とされる。制限されることも多くあったが、不必要なものがそぎ落とされ、物事の本質を見極める機会であったかもしれない。私たちがこれまでの固定概念にとらわれることなく時代にあった新たな取り組みを行っていききたい。少子化の波は確実に訪れており、今後はすべての園が生き残ることはできない。選ばれる園・地域になくはならない園となることが求められる。理念に立ち戻った保育観と人材育成のあり方を再構築し、ブランドビジョン(ありたい姿)を職員間で共有し、園のブランディングに取り組む。「らしさ」を際立たせることで地域に必要な保育・教育機能を有した園として存在価値を高める。</p> <p>No one will be left behind (誰一人取り残されない)という理念を持つSDGsを園の共通言語として、Diversity(多様性)を尊重しながら園でできる取り組みを模索していく。</p>
財務	<p>施設設備積立金を1,500万円程度目論む。2023年度はステージの床修理とカーテン交換を行う。保育室の空調機の交換も順次行う。また、砂場や乳児の遊び場などの園庭整備を予定している。子育て支援棟の有効活用の為、増改築の計画についても検討していきたい。</p>

## 課題解決に向けた取組み・アクション (●は既に始まっているもの ○は順番に実行するもの △は検討する引出しに入れるもの)

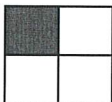
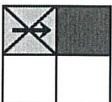
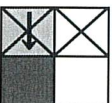
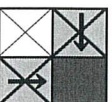
取組みテーマ	取組みの目指す姿 (目標)	アクション	取り組み内容
ブラッシュアップ (保育で繋がり)  浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念を理解し共有することによって全職員が同じ目標に向かうことを意識する</li> <li>自己肯定感を高くもち何事も自信をもって取り組める子どもを目指し、全職員で話し合いを深め、主体的な保育を実践する</li> <li>園の目指す姿を保護者と共有し、子ども達の健全な育成のための協力体制を構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①主体的な保育(生活とあそび)の実践</li> <li>●職員のキャリアアップ</li> <li>●保護者支援</li> </ul>	教育アドバイザー・オンライン研修などの学び多様性の中の保育・子どもの安全を考える 保育会議内容の見直し・エピソード記録活用  理念研修・八葉会研修・キャリアパス研修・第三者評価・マニュアル研修 職員アンケート・保育体験  保育参観(講演会・懇談会・保護者給食見学)行事参加(親子遠足・運動会・発表会・作品展) 保護者会活動(夏祭り)
事業内容の拡大 (新事業で繋がり)  横展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>非認知能力を身につけ、粘り強く取りこむ力や豊かな感性を育むため、活動や行事の取り組み方を工夫したり、外部講師による指導を受けたりする。指導の仕方を学び保育へ生かす</li> <li>自主的なサークル活動により職場内コミュニケーションを図る</li> <li>積極的に地域行事へ参加し、地域とのつながりを重視する。祖父母や公民館を利用する方と昔あそびや伝承あそびなど世代間交流する機会をもち、豊かな体験を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★②粘り強く取り組む力、豊かな感性の育成</li> <li>自主的サークル活動</li> <li>地域から愛される園づくり</li> </ul>	発達の連続性を踏まえた保育内容の実践と見直し 行事内容や取り組み方の工夫 運動あそび研修・ヤマハ研修・リトミック  ソウエルクラブの利用(職員の自主的活動)  昔あそび・伝承あそびを一緒に取り組む(祖父母交流・ふれあい散歩・ふれあいひなまつり会など)
事業内容の拡充 (園の存在価値)  深堀り	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な保育を目指し、保育会議内容を検討する。</li> <li>人権を尊重した保育を続けていくために、会議や研修、チェックリストなどを継続すると共に職員間で助け合う姿勢をもつ</li> <li>どの職員も自園に対する帰属意識を持ち続ける(職場ロイヤリティ向上)ことができるよう、各自、役割や責任ある仕事を任せ達成感をもたせる</li> <li>アンケート結果から子育て世代の状況を知り、支援内容を検討し、参加者の増大を目指す</li> <li>HPや広報誌など園の魅力を発信し、安定した入園数の確保を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育内容・環境の見直しと実践</li> <li>★③人権を尊重した保育を続けていくための学び</li> <li>●子育て家庭への居場所作り・情報発信</li> </ul>	全体的な計画・年間計画の見直し 主体的に取り組むための環境の工夫 外部講師指導を有効に取り入れる保育内容  研修(オンライン研修)・会議内グループディスカッション・人権擁護のためのセルフチェックリスト 自己チェックリスト  アンケート・子育て相談・近隣のあそび場情報 ほいくの園参加 リトミック・ベビーマッサージ・ベビーヨガ ホームページの充実・保育体験交流・給食試食会
+ Reborn (未来につなげる)  多角化	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて学び、園での取り組みを検討し実践できることから始める</li> <li>次世代を担う若手人材の確保のため、ボランティアや実習生からの複数採用を目指す</li> <li>姉妹園とのチーム保育を積極的に行い、保育充実・人事交流を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育を通してのSDGsの浸透</li> <li>ボランティア・実習生からの人材確保</li> <li>四園間チーム保育</li> </ul>	実際の取り組みの発信(ジェンダーレス・人や物を大切に)・給食室からの発信(残菜少なく) 自給自足への取り組み(コンポスト肥料作り・再利用)  職場がイメージしやすい募集要項作成 プロモーションビデオ作製・HP充実 給食試食会・四園の見学会  緊急時保育協力・技術協力 担当者会(人権・ヒヤリハット)



## 今津未来園の事業戦略

戦略方針	<p>・保育園は、集団の中で生活し、友だちとの遊びを通して規範意識や協同性等「生きる力」の基礎を培う大切な場所であり、保護者にとっても、保育園や保育者は貴重な存在であるためその信頼に応えられるよう、安心して安全な場所とならなければならない。身体的・精神的にも未熟であり、弱い立場の子どもが自立できるまでに十分な配慮や保護が必要時期であることを再確認し「子どもの権利条約」における”4つの原則”(生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利)を実現・確保できるように取り組む。</p> <p>・2023年度は法人間での研修交流や縦割り保育を取り入れ、その中で職員間の連携や職員の質の向上が図れるようお互いを認め合ったり協力し学び合いながらチーム保育に取り組む。</p> <p>・新型コロナウイルス流行により、生活環境や価値観が大きく変動し、年間行事の見直しを行いながら取り組んできたが落ち着きを取り戻す中で行事の再開、内容・規模の見直し、地域との関り方など状況を再度見直しながら取り組んでいく。</p>
財務	<p>施設・設備整備積立金は600万円の積立をおこない、2023年度には8,000万円程度の積立を目指す。</p> <p>園も12年目を迎え建物・器具においていろいろなところで修繕が必要となっている。子どもたちの安全・安心な環境設定を第一に考え取り組んでいく。また、物価の高騰により経営に大きく影響を及ぼしている状況も見られるので、経費支出の状況を職員にも知らせながらできるだけ業務の無駄、浪費をなくし節約やスリム化等を心がけるようにする。</p> <p>修繕事業として引き続き2階フロアコーティングと避難滑り台からの避難経路柵等の修繕を行う予定。</p>

## 課題解決に向けた取組み・アクション (●は既に始まっているもの ○は順番に実行するもの △は検討する引出しに入れるもの)

取組みテーマ	取組みの目指す姿 (目標)	アクション	取組み内容
ブラッシュアップ (保育で繋がり)  浸透	縦割り保育や研修に取り組む中で個々の質の向上を目指し、職員のチーム力を高める。園児や職員、保護者にとって安心して生活でき、人の痛みがわかり寄り添える集団作りを目指す。	★①チーム保育への取り組み  ●職員の資質向上  ★②安心して生活できる「見えるか」な環境創り	グループによる活発な意見交換の場づくり 職種を超えた体験・交流の場づくり 縦割り保育の取り組み  教育アドバイザーの活用 八葉会研修他研修への積極的参加 ヤマハ・体操教室・リトミック等の取り組み  ポストイトを利用して危険個所の見直し 虐待、不適切な保育について学習を深める 人権擁護セルフチェックの活用研修
事業内容の発信 (事業で繋がり)  横展開	保護者が抱えている不安や対策を共に考え、人と人をつなぐ園を目指す。また、法人間での連携を深めチーム保育を目指す。	●職員の交流  ●子育て支援事業内容の充実  ★③保護者支援	休憩時間の確保 異年齢職員との交流、意見交換 法人間での研修保育取り組み (リトミック・ベビーマッサージ)  子育て相談 リトミック・ベビーヨガ・マッサージ体験活動 子育てについての情報発信  空き部屋を提供し、集える場所づくり 子育ての情報発信や離乳食等一緒に作る 参観日等で講師を招き共に学ぶ機会をもつ
事業内容の拡充 (園の存在価値)  深掘り	内部へ・外部へ・地域への情報発信・情報交換を行い、繋がり の輪を広げる。 子どもたちへの関わり、安全確保などの面からもIT導入による 業務のスリム化を目指す。	●緊急時の情報発信  ●地域との交流・発信  △業務のスリム化	災害を想定した訓練の充実 緊急時の職員・保護者との連携確認 保護者への情報発信の充実  地域住民・ボランティア・お年寄りとの交流 野菜植え付け収穫・お茶会などの体験活動 保幼小との連携・交流  お便りのメール配信・タブレットの導入 午睡・健康チェック等のアプリ利用の導入
+ Reborn (未来につなげる)  多角化	心身共に健康な子どもの育成ができる安全な環境・居場所づくりを目指す。	○環境整備  ○児童クラブの運営  △誰もが参加できる居場所づくり	0歳児テラスの整備の検討 乳児園庭の芝生の張替え  運営内容の見直しと環境整備  職員、地域のニーズに沿った居場所づくり 不登校児童の学習の場、子ども食堂などの運営に向けての情報収集



赤坂未来園の事業戦略

戦略方針	<p>物があふれている現代に外国では戦争がおき、国内では保育士による不適切な対応がクローズアップされ幼い子どもが犠牲になっている。コロナ禍で密を避けるために行事やコミュニケーションを最小限にしてきたが人格形成の土台となる大切な乳幼児時期において保育する事の大切さを再認識している。子どもの主体性を育み、地域に必要な魅力ある園を作り上げていくために、2023年度は職員一人ひとりに焦点を当て職員が活発な提案や得意なことを広めあうコミュニケーションの場をもち、職員同士が認めあい、尊重し、自己肯定感を高めることで元気に笑顔で子どもにかかわれるようにしていきたい。また、保護者や地域の人に率先して明るく元気に挨拶をすることで子どもたちの手本となり、子どもたちも自然に挨拶をする活気あふれる園に行きたい。また、体操や音楽に触れたり、自然の生き物、植物、土などを体感できる環境を職員、子ども、保護者と一緒に整備していくことで、子どもたちの興味を引き出し、この子にとってより良い環境を創造し大切な智恵を育てたい。</p>
財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度の土地購入に向けて3,000万円を目標に500万円程度の積立を行う。</li> <li>・室内環境の整備を行い園児用の机、椅子、玩具などの購入を計画的に検討していく。また園庭の環境についても、遊具や植樹、ピオトープなど段階的に整備していく。</li> <li>・乳児棟・子育て支援棟の増築については、今後の園児の入園状況や地域の状況を見ながら、検討を行っていく。</li> </ul>

課題解決に向けた取組み・アクション (●は既に始まっているもの ○は順番に実行するもの △は検討する引出しに入れるもの)

取組みテーマ	取組みの目指す姿 (目標)	アクション	取組み内容
ブラッシュアップ (保育で繋がり)  浸透	・地域や家庭のニーズに応じた教育・保育を行うため、職員間や法人内での交流・協力をを行いチーム力を高める (チーム力)	★①職員間や法人内の交流  ●子どもの健康と安全管理  ●業務改善	・テーマごとの会議・少人数での話し合い ・リトミック・ベビーマッサージ・緊急時  ・ヒヤリハット/ハザードマップの作成・周知 ・セルフチェックリストを活用した子どもの人権保護・菜園活動・体操教室  ・提案箱の設置 ・月曜日は閲覧見ようデー
新施設の開設 (新規地域で繋がり)  横展開	・保護者や地域との連携を深め、子どもへの関心や愛情が高まるような取り込みを行う (子どもを通じた連携)	●子育て支援の充実  ★②地域への発信  ●保護者への発信	・子育て相談、体験活動 ・お悩みアンケートの実施 ・親の学びの場(親向けの講座)  ・お便りの発信・小学校との交流 ・老人施設への訪問・災害時の協力体制 ・えがおで挨拶運動・感謝の会  ・ICTを活用した発信 ・緊急時の受け渡し方法 ・ドキュメンテーション
事業内容の拡充 (新事業で繋がり)  深掘り	・職員一人一人が、「教育」「養護」について深く学び、自己肯定感を高めながら個々の質の向上を目指す (自己研鑽)	●学び合い  ★③自己肯定感を高める  ●資質向上	・教育アドバイザーの活用 ・職員の他クラス体験 ・八葉会研修  ・職員ひとり一人の得意なことを活かし、広める ・職員のキラリハット  ・理念研修 ・キャリアアップ研修 ・ヤマハ音楽 ・外部研修
+ Reborn (未来につなげる)  多角化	・子どもの健やかな成長を促すために、子どもが自ら関わり夢中になって遊びこめる空間をつくる (子どもの笑顔)	④自ら遊びたくなる環境づくり  ⑤子どもの育ちを支え合い喜び合う  △乳児棟、子育て支援棟の検討	・子どもや保護者と一緒に園庭づくり ・自然を学べる環境づくり ・発達にあった玩具選び  ・掲示板の活用 ・子育てが楽しいと思える語り合い ・子どもの育ちを意識した発信  地域の人口推移等の情報収集・検討



## 未来園深津の事業戦略

戦略方針

設立3年目を迎え、地域や家庭のニーズに応じた保育サービスを少しずつ取り組んでいる。今年度は個々の発達に応じ、心と体のバランスの取れた子どもたちを育てるために、運動面・リズムあそびを多く取り入れ運動機能の確率を目指していく。ベビーマッサージ・リトミックなど姉妹園から来てもらい実施する。職員も参加をすることで、普段の保育の中で実施していけるようにする。2022年度には、0・1・2歳児を対象とした子育て支援を実施できた。2023年度には情報発信の輪を広げていきたい。その他、地域・連携園との交流では、災害時避難場所である城東中学校との連携や交流・祖父母との交流会をしたり、姉妹園・連携園の雰囲気味わってもらえる様、行事への参加ができるようにしていきたい。また、職員個々の得意分野を生かしていけるよう、法人間での研修・外部・リモート研修には積極的に参加していく。園の目標、笑顔で挨拶・気持ちに寄り沿った保育をしていきたい。

財務

今年度は、入園児が安定して確保でき、運営費などの収入が昨年度より多く見込まれる。また、前年度繰越金もあるので、可能なら、年度内に予算補修を行い、設備整備借入金金の返済を目論む。支出の儉約を行うために経費支出の適正化を図る。

## 課題解決に向けた取組み・アクション（●は既に始まっているもの ○は順番に実行するもの △は検討する引出しに入れるもの）

取組みテーマ	取組みの目指す姿（目標）	アクション	取組み内容
ブラッシュアップ (保育で繋がり)  浸透	地域や家庭のニーズに応じた情報発信を行い、教育・保育サービスを行う。	★① 家庭的な保育環境	子どもの特性を把握し、個々の自主性を育てる
		●保護者との信頼関係	日々の伝達をこまめに行う(連絡帳・おたよりの充実) 行事などを利用して交流
		●心と体のバランスのとれた子どもの姿をめざす	個々の発達に応じ、様々な体験が出来るようにする(運動あそび・リトミックなど)
事業に内容の発信 (事業で繋がり)  横展開	環境を整えていく。  職員への教育や連携を強化する	△環境整備	・手作り玩具・絵本の充実 ・危険な箇所の見直しや整備 ・テラスの整備
		●保護者とのコミュニケーション	笑顔で挨拶・連絡ノートや送迎時の丁寧なやりとり・写真掲示
		★③人格形成の基礎と運動機能の確立	ベビーマッサージ(月1)・リズムあそび(月1)・運動あそびの充実
事業内容の拡大 (園の存在価値)  深掘り	子育て家庭への情報発信や交流や保育体験の実施  地域への情報発信・地域交流	○連携園とのつながり	連携園の運動会の体験
		△地域・子育て支援の場の提供	保育所体験の場の提供 祖父母交流会への参加 中学生との交流
		●子育て家庭への情報発信	子育て相談・HP・掲示などを活用した情報発信・チラシなど
+ Reborn (未来につなげる)  多角化	連携園との交流を積極的に行う  姉妹園・他園との交流をし情報交換をする  職員の資質向上の確率	●連携園との情報交換	卒園児について引継ぎを丁寧に 行う
		★②姉妹園との交流	姉妹園年長児と本園との交流の場を設ける
		●専門性の高い保育	・職員の質の向上(研修会・ウェブ会議) ・ヒヤリハットで危険個所の見直し、 自己チェックリストでの職員の改善。